



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 情報企画

コード番号 3712 URL <http://www.iyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 松岡 勇佑

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	718	△22.2	288	△22.4	288	△22.4	196	△20.8
28年9月期第1四半期	924	47.2	372	53.7	372	53.7	248	62.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	58.74	—
28年9月期第1四半期	74.19	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	3,494	77.4	2,703	77.4		
28年9月期	3,598	72.0	2,590	72.0		

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 2,703百万円 28年9月期 2,590百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年9月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	△9.6	400	△16.7	400	△16.8	280	△11.7	83.58
通期	2,300	△8.5	600	△23.8	600	△23.9	400	△24.9	119.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	4,090,000 株	28年9月期	4,090,000 株
29年9月期1Q	740,074 株	28年9月期	740,074 株
29年9月期1Q	3,349,926 株	28年9月期1Q	3,349,926 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日の3ヶ月間)におけるわが国経済については、株価や為替の変動が大きく金融市場は不安定な状況ですが、生産や個人消費は回復基調が続いており景気は安定した状況にあると見られます。しかしながら当社の主要な販売先である金融機関におきましては、低金利政策から全国銀行の平成28年度中間決算は減益となるなど本業は厳しく、設備投資に対して慎重な姿勢が見られます。

このように当社にとって厳しい環境下にあつて、「システム事業」につきましては、当第1四半期累計期間の売上高は、前期に大型案件の売上高を計上した反動もあり、システム開発に係わる「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」ともに前年同期比減収を余儀なくされました。営業利益は、「システムインテグレーション部門」における大型案件開発に係る材料費や外注費の削減はあったものの、減収の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は718,983千円(前年同期比22.2%減)、営業利益は288,913千円(同22.4%減)、経常利益は288,993千円(同22.4%減)、四半期純利益は196,773千円(同20.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

## ①システム事業

## 「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は前期の大手金融機関からの大型案件による売上高計上の反動から大幅減収となったほか、「契約書作成支援システム」や「決算書リーディングシステム」も減収となりました。しかしながら、地域金融機関が金融庁から提出を求められているベンチマークを集計する新システムである「ベンチマーク集計システム」や主要なシステムである「融資稟議支援システム」は複数の信用金庫や信組情報サービス株式会社(SKC)からの受注があり今後売上高計上に貢献すると見ております。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、239,381千円(前年同期比44.1%減)、セグメント内の売上高構成比は34.6%となりました。

## 「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は金融機関の統合などがあり前年同期比減収となり、システムサポート部門の売上高は451,995千円(前年同期比3.4%減)、セグメント内の売上高構成比は65.4%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は691,377千円(前年同期比22.9%減)、セグメント利益は276,243千円(同23.3%減)となりました。

## ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション1棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計4物件であり、当第1四半期累計期間の売上高は、賃貸収入27,605千円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は12,669千円(同7.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ78,823千円減少し、1,927,397千円となりました。これは主に現金及び預金の増加と売掛金の減少によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ25,452千円減少し、1,566,847千円となりました。これは主に繰延税金資産の減少と減価償却費の計上によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ104,275千円減少し、3,494,244千円となりました。

## (負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ217,301千円減少し、791,039千円となりました。これは主に前受収益並びに未払法人税等の減少によるものです。

## (純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ113,025千円増加し、2,703,204千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、海外経済の減速、円高や不安定な株式相場など、景気の悪化が懸念されますが、消費や生産などは当面堅調に推移すると考えられます。しかし、当社の主要な販売先である金融機関の取り巻く環境は依然厳しいと見られます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の様々なニーズを捉えて、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

平成29年9月期におきましては、前期の大型案件の反動もあり、売上高2,300,000千円(前年同期比8.5%減)、営業利益600,000千円(同23.8%減)、経常利益600,000千円(同23.9%減)、当期純利益400,000千円(同24.9%減)と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,799	1,463,058
売掛金	509,775	387,242
仕掛品	55,971	22,539
繰延税金資産	31,767	31,033
未収収益	3,780	12,600
その他	11,126	10,922
流動資産合計	2,006,220	1,927,397
固定資産		
有形固定資産		
建物	787,505	787,505
減価償却累計額	△139,162	△147,239
建物(純額)	648,342	640,265
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△2,008	△2,108
構築物(純額)	2,197	2,097
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△54,637	△56,342
機械及び装置(純額)	20,417	18,712
工具、器具及び備品	62,484	63,511
減価償却累計額	△55,339	△56,268
工具、器具及び備品(純額)	7,144	7,242
土地	807,318	807,318
有形固定資産合計	1,485,421	1,475,637
無形固定資産		
ソフトウェア	14,494	16,202
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	15,610	17,318
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	23,667	6,841
会員権	12,850	12,650
差入保証金	44,399	44,399
その他	350	—
投資その他の資産合計	91,267	73,891
固定資産合計	1,592,299	1,566,847
資産合計	3,598,520	3,494,244

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	45,364	18,416
未払金	78,383	159,773
未払消費税等	51,923	38,413
未払法人税等	147,537	81,018
前受収益	308,673	177,659
賞与引当金	69,038	23,211
製品保証引当金	1,075	7,107
その他	9,680	39,761
流動負債合計	711,677	545,362
固定負債		
役員退職慰労引当金	246,979	196,519
長期預り保証金	49,683	49,157
固定負債合計	296,663	245,677
負債合計	1,008,341	791,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,660,513	2,773,538
利益剰余金合計	2,662,329	2,775,354
自己株式	△763,950	△763,950
株主資本合計	2,590,179	2,703,204
純資産合計	2,590,179	2,703,204
負債純資産合計	3,598,520	3,494,244

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	924,046	718,983
売上原価	415,755	269,991
売上総利益	508,291	448,991
販売費及び一般管理費	136,167	160,078
営業利益	372,123	288,913
営業外収益		
受取利息	102	63
受取手数料	16	16
営業外収益合計	119	79
経常利益	372,242	288,993
特別利益		
ゴルフ会員権償還益	—	264
特別利益合計	—	264
税引前四半期純利益	372,242	289,257
法人税、住民税及び事業税	104,312	74,923
法人税等調整額	19,409	17,560
法人税等合計	123,721	92,483
四半期純利益	248,521	196,773



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	896,638	27,407	924,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	896,638	27,407	924,046
セグメント利益	360,369	11,753	372,123

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

## II 当第1四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	691,377	27,605	718,983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	691,377	27,605	718,983
セグメント利益	276,243	12,669	288,913

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。